

○令和2年度 北海道「体験の風をおこそう」運動推進事業

「ファミリーチャレンジデー」(R2.11.1(日))



【私だけの缶バッチ】 お好きな写真やデータのお持ち込み可	【軽食】 カレーライス(要予約) 1人前500円	【各種体験コーナー】 ニューススポーツ編 クラフト編、想像力・発想力編
○10:00~12:00 家族ごとに各ブースをめぐる体験ラリー(ラリー終了時には粗品を贈呈します) ○12:00~13:00 昼食・映画上映 ○13:00~14:00 フリータイム		

※上履きをご持参ください ※体験料は無料です

「ゆーすフェスタ」は、毎年たくさんの方に参加いただき、楽しんでいただいておりますが、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、参加者の3密状態を避けるため事前予約制として実施します。当施設及び道立青少年教育施設などで提供しているプログラム等を体験して頂き、各世代を担う小学生以下の子供とその家族に子供の体験活動を推進するきっかけとするため、「ファミリーチャレンジデー」として開催します。ご理解の上、ニューススポーツ、ドミノ、クラフト活動各種、スタンプラリー等をお楽しみください。

【申込・問合せ先】  
**体験の風をおこそう**  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
**国立大雪青少年交流の家**  
National Taietsu Youth Friendship Center

主催：北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会  
〒071-0235 北海道 上川郡 美瑛町 字白金  
TEL:0166-94-3121 FAX:0166-94-3223  
e-mail: taietsu-suishinshitsu@nive.co.jp  
担当：芳賀 小保 和泉 香原  
国立大雪青少年交流の家は「地域ESD推進拠点」に登録しています

◆目的  
地域の子供やその家族が、様々なブースでの体験活動をとおして、青少年教育施設の活動プログラムや実施事業について理解を深めるとともに、家族や地域が一体となって子供たちの体験活動を推進するきっかけ作りとします。

◆参加実績(募集定員: 20家族80名程度)  
参加: 22家族83名

【地域別内訳】

旭川市	56名
富良野市	8名
上川郡	16名
空知郡	3名

◆プログラム

- ① 体験コーナー①: ニューススポーツ編  
パラリンピック種目のポッチャを含むスポーツを通して、年齢や体力に関係なく体を動かして楽しむことができた。
- ② 体験コーナー②: 想像力・発想力編  
全1,200ピースのドミノを使い、集中しながらピースを立てたり、倒した時の達成感を味わったりすることができた。
- ③ 体験コーナー③: クラフト編(木工クラフト)  
施設周辺の木材やまつぼっくりなど、自然のものを使い、参加者の自由な発想で思い思いの作品を造り上げた。
- ④ 「体験の風をおこそう」コーナー: ネイパルブース  
各道立青少年教育施設(ネイパル)で提供されているプログラムを体験することを通して、各施設の特色を生かしたモノ作りを知ってもらうことができた。
- ⑤ 私だけの缶バッチコーナー:  
塗り絵や自作イラストの他、写真をプリントアウトしてオリジナル缶バッチ作りを行った。



#### ◆事業運営・企画のポイント

- コロナ禍の影響で例年の「ゆーすフェスタ」と比べてブース数を大幅に減らした上での実施となったが、家族数・人数制限により、ブースの待ち時間を減らし廻るブース数を増やすことで顧客満足度を高める工夫を図った。
- 小学生以下の子供だけではなく一緒に来所する親、年長の家族も楽しめる内容を意識して企画した。クラフト館を開放しての木エクラフトブースの他、道立青少年教育施設（ネイパル）6施設からブース出展があり、モノ作りの楽しさを体験する場の充実を図った。

木エクラフト（大雪青少年交流の家）  
オリジナル缶バッジ（大雪青少年交流の家）  
ジャックオーランタン（ネイパル厚岸）  
オリジナル石鯰（ネイパル深川）  
箸づくり（ネイパル砂川）  
トリコロキューブ（ネイパル砂川）  
カラフルチップキャンドル（ネイパル森）  
ホタテタワー（ネイパル北見）

- 各種ニュースポーツを体験してもらうことで、老若男女、体力・体格の有利不利など関係なく競技を楽しむことができる機会を提供するようにした。

フロアカーリング（大雪青少年交流の家）  
ストラックアウト（大雪青少年交流の家）  
ポッチャ（ネイパル足寄）  
ドミノ（大雪青少年交流の家）

#### ◆参加者の声

- ・大人も楽しめた。大変楽しかった。
- ・親子で一緒に取り組める点が良かった。
- ・長い時間滞在したかった、宿泊してみたかった。また来てみたい。
- ・新型コロナ禍中での参加だったが、対策がしっかりされていて、安心感があった。
- ・ブースでの待ち時間が少なく、たくさんのブースを廻ることができた。

#### ◆事業の成果と課題

- ・子供たちが保護者（大人）と共に楽しみながら、様々な体験活動を行うことができた。
- ・道内の全ネイパルがブース出展した結果、モノ作り体験を重視した活動を行うことができた。
- ・人数制限、事前予約制となったが、密を避けた安心できるブース展開を行うことができた。
- ・当施設に対して興味（プログラム・宿泊など）を持った参加者が多く見受けられた。
- ・コロナ禍でも更に楽しめるプログラムを検討する必要がある。
- ・参加希望者（定員に漏れた方々）へのフォローが必要である。（2日間開催など）

#### ◆事業運営予算

旅費	158,620 円
消耗品費	42,269 円
郵送料	26,028 円
印刷費	50,599 円
燃料費	1,792 円
合計	279,308 円